第85号
昭和39年(1964)
1月10日 発行

発行人
栃尾市
新潟県栃尾市
電話(代表)2151番

広報とちお

昭和32年2月20日第三種郵便物認可　毎月10日発行(定価一部2円)

栃尾市の人口

(12月末日現在)

世帯数	7.591
男	17.987人
女	19.322人
計	37.309人

1月の広報メモ

▷新年活の設計
▷正月の暴力行為の一掃　(1月中)
▷成人の日　(15日)
▷学校給食週間　(24日～30日)
▷文化財防火デー　(26日)
▷冬の交通事故防止　(1月～2月)
▷3学期を迎えたこどもの指導

謹賀新年

年頭にあたりて

栃尾市長　千野勝司

市民の皆さん明けましておめでとうございます。

ここに希望の新春を迎えるにあたり、みなさんのご清福とご繁栄を心からお祈りいたします。

過ぎ去つた昭和三十八年は、未曽有の豪雪にみまわれ、わが栃尾市はいちじ全く孤立化しましたが、自衛隊をはじめ各関係機関のご協力とご支援によりまして市民生活の安定と産業の伸展ができましたことを深く感謝いたしております。

私が就任してからは、豪雨、台風、豪雪と大災害があい次いで発生しましたがこれらの復旧事業も、市民の皆さんのご協力によりましてほぼ完了いたしました

顧みますと、わが栃尾市は年々発展し、市制を施行して十周年を迎えました。

この間市民生活に直結する上水道施設、ガス供給施設も完備し、近代都市としての形態を整えて参りました。また、市民生活に欠くことのできないし尿処理につきましても、昭和三十九年度中には、瑞原市内に処理施設が完備するよう事業を進めております。しかしながら、市民の福祉増進と市民生活の安定を図るには今後幾多の重要問題が山積しております。その解決を図ることは直接市政を担当するものの責務であり、国および県の施策と相まつて市財政のゆるす範囲内において最大の効果があがるよう努力する覚悟であります

私が重要施策として進めて参りました道路整備、拡充につきましては、着々と進んでおりますが、本年も主要県道の大幅改良をはじめ道路網の整備を重要施策として努力する所存であります。さいわい関係機関のご理解あるご支援により明るい見透しをもつておりますので、工事施行にあたつては、市民各位のご協力を切望するものであります。

市の主産業である織物は全国にその名を知られ、製品の優秀さについては折紙をつけられているところであり、今や海外にも進出し輸出量も年とともに増大しておりますことは、業界のかたがたの撓みない研究と努力にほかならないものであり、まことにご同慶に堪えないところであります。

業界の伸展は栃尾市の発展のカギともいうべきものであり、今後とも一層の努力を重ね隆盛発展をねがうものであります。

農林業の振興につきましては、農業構造改善等農村近代化を図るため関係機関関係者のご意見を充分採り入れて進めて行く考えであります。農業用水と災害防止のための防災ダム建設につきましては、昨年地質調査が実施されましたが、結果が余り芳しくありませんので非常に困難な状況にありますが、これをぜひとも実現するため下流関係市町村とともに鋭意努力する覚悟であります。また、山間都市におきましては、還金作物の栽培、養鯉の振興、果樹園の造成等の施策と併せて農村部への工場分散を推進したいと思つております。

教育行政面につきましては、昨年一月焼失した熊袋小学校の処置問題をはじめ教育施設の整備を図り教育効果の向上を期するため、教育委員会と密接な連携を保つて推進する所存であります。その他、商工業、社会福祉等の重要問題がありますが、市政全般にわたり内容充実に最大の努力を傾注する所存でありますから倍旧のご指導とご支援をお願い申し上げます。

年頭にあたり所感の一端を申し述べましてわたくしのごあいさつといたします

元旦

市民として恥しからぬよう職責に誠意を捧げよう

栃尾市議会議長

石田藤蔵

「あけまして、おめでとうございます」こうした毎年恒例のご挨拶を申しあげる心境で、新しい一年間でありたいものと念じておりますが俗世の社会はこれを許しません。ご承知のように昨年は新年早々あの豪雪のために尊い二人の人命を不慮の事故で失つたほか多くの被害を蒙つたことは悲しむべきことであり、また幾多の災害を受けた事件はまざまざと、まだ私達の脳裡に刻まれております。

今年こそはあのような不幸事の起らないことを祈念してやみません。

さて、栃尾市政の面において考えられることは、栃尾市そのものを見る前に日本全体の国情を大きく考慮されなければならないのではないでしょうか。ということはすべての建設事業や教育行政等全般が国や県の援助なくしてあり得ないことであります。これはひとり、栃尾市に限つたことではございません。従つて栃尾市の行政も近視眼的な視野で考えてはならないことであります。

従来の栃尾市政を観察するに市町村合併拾年を過ぎても、いまだ一部に当時の残滓を見られるのは遺憾に思うところであります。

社会は原子力時代から宇宙時代と寸刻も停止するところを知らない躍進を続けております。栃尾市もこの広大な宇宙構成の中の一存在であることを忘れてはならないのであります。如何にそれが顕微鏡的存在であつても、私は栃尾市政の推進を計るためには、何時までも旧態依然の考え方を捨てて行政機構の本質を見きわめ、市民の政治であるという感覚の下に、そのすべてが、市民サービスの確立ということに立脚した執行権者のあり方、市議会も三権分立の精神にもとづいた審議機関であるという、その責任を明確にして議員活動に全力を傾倒する覚悟を持たねばならないということを強調したいのであります。

従つて市議会議員は内にあつてはよき市民の公僕であり、外に向つては、栃尾市を代表する一員であるというプライドをもつて、あくまでも現代社会の紳士として対処して行く覚悟と責任を堅持しなければならないのであります。私は特に市議会議長として常にその決意を持つてすべての対外的な仕事に紳士的行動をなし栃尾市民として恥しからぬよう努力を続けて参りました。本年も市民各位のご叱正とご協力を願つて、その職責に万全を期したいと念願し、あらためて神前に祈りと誓いとを捧げ年頭のご挨拶と致します。

第七回 市議会定例会

熊袋小 人面小 二校統合可決

昭和三十八年第七回市議会定例会が、さる十二月二十四日市役所に招集され会期を一月十四日までの二十二日間ときめ、本会議を十二月二十四日と二十五日に開き、休会中にそれぞれ各常任委員会を開き、次の本会議をきたる一月十三日、十四日に開く予定であります。

× × × ×

栃尾市立熊袋小学校・人面小学校の二校が四月一日づけで統合することに決まりました。

＝参考＝熊袋小は、学級数は五、生徒数は一〇四人、人面小は、六学級で一六九人です(三十八年五月一日現在)

このうち、熊袋小は昨年火災により校舎が焼失、現在は下塩谷中学校のなかで三学級樫出小学校で二学級勉強しておるものです。

給与条例など一部改正

栃尾市職員の給与に関する条例が一部改正されました。

主な内容は、期末手当の支給率百分の百九十を百分の二百に、また勤勉手当の額の最高額を定め百分の二十を百分の三十に改めた。なお給料表を国の基準にみならつて改定したことなどで、その結果平均約十六%の引上げとなりました。

× × × ×

特別職給与条例も改正されました。その結果、市長七万五千円が八万五千円に。助役五万五千円が六万五千円に。収入役五万円が五万八千円にそれぞれ改められました。

× × ×

栃尾市議会議員の報酬および費用弁償等に関する条例も一部が改正されました。

議長二万二千円が二万五千円に。副議長一万九千円が二万二千円に。議員一万七千円が二万円に改められました。期末手当の支給率も改められた

× × ×

教育長の給与条例の一部も改正。

教育長の給与四万五千円を五万二千円に改められました

これらの条例改正は、いずれも昭和三十八年十月一日から適用したものです。

無火災分団など表彰

三十八年中に二千百万円が灰

恒例の春の消防出初式が、さる六日栃尾小学校で行われ無火災分団などの表彰が行われました。

また、昭和三十八年中の火災発生状況がまとめられ、それによると、発生件数は、二十三件、損害額は、二千百三十五万八千百円で、件数は、昨年に比べ三件減つておりますが、損害額は、一千二百二十六万三千円も増えております。

昭和三十八年度無火災分団の九分団に表彰状と、竿頭綬が授与されました。(カッコ内は分団長名部落名は分団の区域である)

〔第二分団〕(斎藤忠一)栃尾町川西、清水町、金町、新町、一之渡戸
〔第四分団〕(今井光隆)小貫、土ケ谷
〔第五分団〕(佐野俊一)檜原、水沢、鶏ケ島
〔第十分団〕(藤田重雄)塩新町、平中野俣、梅野俣、九川
〔第十一分団〕(佐藤栄一)本所、入塩川
〔第十三分団〕(武士俣邦吉)栃堀、小向
〔第十五分団〕(剣持忠雄)一之貝、比礼、軽井沢
〔第十八分団〕(金内忠次)西中野俣、新山、繁窪
〔第十九分団〕(諸橋福蔵)半蔵金、田代

なお、第十、十一分団は五カ年間無火災でありました。

原因別	発生件数(全焼棟数)	損害額
		円
風呂・かまど	2	8,650,000
煙突	3 (1)	5,105,000
電気関係	3 (3)	4,178,000
石油コンロ	3 (2)	1,600,500
取灰	1 (1)	1,020,000
不明	1 (1)	690,000
こたつ	3	59,000
ガソリン(車両関係)	4	43,000
弄火	1	10,000
焚火	1	100
火鉢	1	2,500
計	23 (8)	21,358,100

主要道路を雪から守ろう!!

雪害対策委員会で計画

▽……さる十二月一日づけで市にも雪害対策委員会が設置され、……△
▽……数回の委員会が開かれ、交通確保、防災救助など雪害を最少……△
▽……限にとどめるよう対策を検討しました……△

除雪は市民総ぐるみで

毎年雪がつもると「除雪はどうするのか」「早くブルドーザを寄こしてくれ」などと除雪対策本部に要望や苦情が入ります。もちろん対策本部では、できるだけ皆さんの要望にそえるよう努力しております。しかし、雪害問題は、市内全域にわたつており、除雪するための機動力にも制限があります。したがつて、除雪する場合は、道路の利用度地域における機動力による除雪作業の状態などいろいろ考え、一定の方針をたてて活動しています。

道路の除雪というとブルドーザに頼りがちですが、このような機動力による除雪をスムースにしかも能率的にやるには、地域のみなさんの協力がぜひ必要なわけです。つまり、雪害を少なくするには、市民総ぐるみであたらなければ達成できません。

そこでぜひお願いしたいことは、町内や部落が一体となつて活動していただきたいということです。

機動力をフル運転

雪害対策委員会の方針では市域内主要道路の交通を確保するため、市有のブルドーザはもちろんのこと、業者所有のものも借りて主要道路から順次除雪する方針です。ブルドーザが通ると家の入口に雪がたまり出入りに困ることがあります。また、人力がどうしても必要なところも多くあります。

そのため、ブルドーザなど機動力の除雪には理解と協力がどうしても必要です。

雪おろしはなるべく同じ時期にしましょう

特にお願いしたい留意事項をあげました。協力を願います。

▽機動力除雪のとき、そこを通行する人は注意しましょう。また、一時的に通行止め、回り道をしていただくことがありますからご協力ください。

▽雪をおろすばあいなるべく町内で同じ時期におろすことが、交通確保の面から望ましいことです。特に主要道路に面している家では、協力していただきたいものです。

▽雪をおろすときには、電線電話線にあてないように注意しましょう。また、電線にさわらぬよう注意しましょう。

▽住居の出入口は、二カ所以上あけ、非常のばあいに備えましょう。

▽消火栓が雪にうずもれないよう注意してください。

▽ゴミの収集は、どうしてもうまくいかなくなりますからゴミ箱に雪が入らないようにしてください。

除雪費

市では、除雪対策費としてとりあえず一六〇万円を計上除雪にあたります。

× × ×

市街地内主要道路の除雪費についてはことしは次のように除雪協力費として拠出していただくことにきまりました

関係区民（市街地）四〇万円、交通安全協会二〇万円、商工会四〇万円、計一〇〇万円、この協力費は、その地域の家の雪おろしをしたものまで全部取りかたづける経費ではなく、普通の降雪くらいの高さにしたあとの除雪をする経費にあてるものですからご承知願います。

少年を不良化から守ろう

少年の不良化は、普通の病気と同じように早く発見して補導すればなおりも早いものです。少年の不良化のきざしを次に掲げましたので、充分注意をしてわが子を不良化から守りましょう。

一、ことばや態度が変る

不良者との交際や、不健全な遊びをするようになり、自然とことば使いや態度が変つてきます。

二、服装や携帯品が変る

身分にふさわしくない服装をしたり、携帯品もはでになり、金使いが急に荒くなつたような場合。

三、うそやかくしごとが多くなる

心にやましいことがあると親に真実を話されず、かくしごとをするようになります。

四、友達や読物が悪くなる

悪い友達、悪い読物は少年を不良化におとしいれます。

五、たばこや酒

たばこや酒は、少年に有害であるため、法律で禁止されています。

（栃尾警察署）

農委選挙人名簿の縦覧

一月二十日～二月三日

選挙管理委員会では、昨年十二月一日現在で農家の皆さんが提出された申請書にもとづいて農業委員会委員選挙人名簿を作りました。名簿に登載されているかどうかぜひ確めてください。

縦覧期間は、一月二十日から二月三日までの十五日間、毎日午前八時三十分から午後五時まで市役所総務課でお見せいたします。

新有権者の感想文募集

新有権者の感想文を次の要領で募集いたします。

▽感想文の内容と標題　標題は自由ですが、新有権者として、民主政治とくに選挙に対する自覚を内容とする
▽枚数　二百字詰原稿用紙十枚以内又は四百字詰原稿用紙五枚以内。
▽応募資格　昭和十八年一月一日から同十九年十二月三十一日までの間に生れた者。
▽〆切　一月三十一日。
▽提出先　東京都中央郵便局区内　自治省選挙局管理課。

“ありがとうございました”

歳末たすけあい運動の結晶

喜ばれたたくさんの贈りもの

「みんなで明るい正月を」と毎年全国的に歳末たすけあい運動が行われ、皆さんのご家庭へ同情袋を配布してお願いいたしました。その結果、皆さんのあたたかい理解あるご協力によりまして年末までに寄せられた援護金品は、同情袋による現金が九七、九三六円、岡村スズノさん（三光）から三千円、東谷中生徒会一同から七二七円、栃尾警察署を通じて大広さんから一、二六七円、同じく小林幸一さん（東町）から五百円、同じく古部高義さん（金町）から五百円、軽井沢分校五・六年生から一千円、栃尾中栃の芽会一同から二、二六〇円、島田恒策さん（大野）から二五一円東谷青年学級一同から一、三六二円、栃堀の一篤志家から一千円、計一〇九、八〇三円このほか織物組合関係工場から反物一、〇一二・五メートル（金石、下條、伊勢屋、鈴熊、大樋、協和、鍋佐、山中武良、高波、丸倉、中長、倉茂、紺栄、倉寺、港屋、米太源佐、越路、喜登明、木豊、斎藤、中島、木藤、杉山、浜屋、丸山、西清、笠幸、稲正丸早、大崎、寺本、栃尾織物工業協同組合からマフラ一四〇本、（以上敬称略）大久呉服店から学生服など衣類二四九点、全商連スタンプ会加盟店から衣類食料品など三二二点、杉山織物工場に勤務している二人の女子従業員から衣類七点、鈴倉織物株式会社から布地五二メートルなどの多くの援護金および品物が寄せられました。

これらのたくさんの贈物は市内の生活保護を受けているかたがた（二三〇世帯）長期療養者（六〇人）各種施設入所者（養老院、児童施設など三七人）などに入つておられるかたがたに民生委員が訪問し、はげましのことばといつしょにお金や反物をお贈りしました。ありがとうございました。

公民館だより

スキーシーズンを迎え おおいに滑ろう

お互いに注意したい事故

清浄無垢、白銀の世界にあこがれるスキーヤーは、まずスキーの対象となる雪の知識用具、服装などについて、正しい認識をもたなければなりません。どんなふうにみることが正しいか、また、正しい技術を習得するためには、よりよい練習方法や、練習場を選ぶことが大切であります。

さいわいにも、長峰スキー場も、陣ケ峰スキー場（赤坂）も、すぐ近くであるから、憩のひとときを利用して、滑べるにも好適の場所ともいえましよう。そこで、お互いが次の点に充分気をつけ、事故のない楽しい、スキーシーズンにしたいものです。

◎事故が発生する主な原因として

※内面的には、自分の技術、あるいは能力をこえ、スピードを出しすぎる。また経験のとぼしさ、疲労などがあげられます。

※外面的には、雪の条件はもちろんですが、前方がよくみえない場合、あやまつたコース、立木、うかつな服装などがあげられましょう。しかし過去の事故例をみると、特に長峰スキー場では、頂上附近から、二人、三人とつづいて「俺」が滑つてみせる……というような人達が、あまりにも多く、さては体当りといつた例がたくさんありました。

これ等については、本人はもちろんのこと、子供をもつ父兄の方々の充分な事前注意を必要といたします。長峰スキー場には、注意事項を書いた数本の立札をたててありますから、その指示に従つて滑りましょう。従わなかつた人がいたら、高学年や年輩の人達はもちろん、おたがいに注意し合い、あくまでも無理のない滑りかた、ゆづりあいながら、事故のない、楽しいシーズンとしたいものです。一人では行くまい、三人以上で行こう。

なお、栃尾市公民館と栃尾スキー協会では、初心者を対象とした、スキー技術講習会を計画しております。近く指導陣の決定をみたうえで、皆さまにお知らせいたします。

栄養強化たくあんの作り方講習会終る

栃尾地区婦人会、栃尾市公民館共催で、去る十二月五日六日（二日間）栃尾織物工業組合、市役所議場、二会場に亘り、新潟県食品の自然食運動協議会、食生活改善普及会派遣、新潟市の谷美津枝先生を迎え、晩秋から冬にかけての漬物講習会を開いた。約二百名（二日間の延人員）の受講者は、大根の選定及び乾燥ぬかと塩の割合、漬込みの化方等に、ついて指導を受けられた。また、その場で実際にやつてみるなど、熱心に、しかも真剣に受講された。

【ねつしんに受講された婦人会】

恒例成人式のお知らせ

服装はきわめて簡素に 平常の服装で参加しよう

今年度の成人式該当者は、昭和十八年四月二日から昭和十九年四月一日までの間に生まれた青年で、栃尾市に住民登録している者を対象にして四月三日、栃尾小学校を会場で、栃尾市の成人式を行ないます。

一月十五日は「成人の日」として、成年に達した青年の新しい門出を祝福する、厳粛であたたかみあふれたものとする趣旨で国民の祝日ですが当市の場合は大部分の農村青年が、出稼していることと、冬期間は雪が多く、集まるのに、多くの時間を必要とするため、雪消えまでのばし、行います。成人者は原則として栃尾市に住民登録している者を、対象として行いますので早く市役所で手続きをしてください。学生及び市外就職者で、成人式を機会に帰省し、参加を希望する該当者のあるときは、特別参加を認めたいと思いますので（但し、本市外で成人式を受けた方は二度受けられません）本人または親族の方より直接、栃尾市公民館まで申込みください。

毎年参列者の服装は、ハデになりすぎますが、今年はそんなことのないよう心掛け、きわめて簡素で、華美になつたり、他人に迷惑をかけないよう、特に注意いたしましょう。平常の服装で出席でき、楽しい、しかも有意義な思い出深い成人式が出来るよう、お互い気をつけ、皆んなが気をつかわず、参列できるように心掛けましょう。服装を新調する余財は将来の設計に備え、貯蓄したいものです。

市体育協会新役員決まる

栃尾市体育協会では、この程、市公民館を会場として、役員会を開き、一月一日付で新役員が次の通り決まりました。

会長　稲田正三（仲子町）
副会長　神子田安法（三光）
同　楡金会久（清水町）
同　稲田良夫（大町）
同　星野邦之助（山田）
理事長　山内貞次（公民館）
監事　韮沢升二（上谷内）
同　石山英治（東町）
会計　小林大造（原）
同　島一馬（東町）
事務局長　平沢博（公民館）

お知らせ!!

今年も成人講座 開設予定

昭和十八年四月二日から昭和十九年四月一日までの間に生まれ、今春成人式を迎える青年男女の該当者に対して、成人として必要な知識を再認識し、自から社会に生き、実際生活を営む上に必要とする知識について、専門講師を通じて、語り合う機会を設け、多くの知識を習得していただくため、二月より開設いたす予定であります。多数受講ください。なお公民館では市役所の住民登録簿に登録されている該当者には、あらためて案内いたします。（一応対象は、栃尾地区の該当者のみの予定）